

～ 唐津市短観 令和2年度下半期調査結果 ～

- 現況は「悪い」（現況DI：▲16）、見通しは「悪くなる」（見通しDI：▲59）
- GoToキャンペーンにより疲弊した景気・経済の再興が図られたが、新型コロナウイルスの影響で再度緊急事態宣言が発令された影響もあり、すべての業種において見通しが悪い。

■調査概要

- 調査時期： 令和3年1月
 調査方法： 郵送による回答
 調査内容： 前期と比較した今期（令和2年7～12月）の景況感および
 今期と比較した次期（令和3年1～6月）の見通し
 調査対象： 唐津市内の事業者から抽出した7業種140事業所
 回答数： 117（回答率83.5%）
 分析： 唐津市

■当期の結果概要

現在の景況感は「良い」22.2%に対し、「悪い」が38.5%と上回り、現況DIは▲16ポイントとなりました。業種別に見ると、農業、卸売・小売業、飲食業、運輸業・その他のサービス業において前回調査に引き続き現況DIがマイナスとなっています。建設業、製造業はプラスに転じ指標は上昇しています。また、宿泊業は国のGoToトラベル事業で需要が高まり50ポイントに上昇しています。

6か月後の見通しについては「悪くなる」が61.2%、「変わらない」が36.2%と引き続き景況感は悪い状態が続くもしくはさらに悪くなる見通しとなっております。業種別で見ても、すべての業種において見通しDIがマイナスとなっており、新型コロナウイルスの影響が引き続き見られます。特に宿泊業、飲食業の見通しDIは共に▲90ポイントを超えており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が特に大きく出ている模様です。

	前年調査	前回調査		現在の景況感			現況	6か月後の見通し			見通し		
	現況DI	現況DI	見通しDI	回答数(n=)	良い(%)	普通(%)	悪い(%)	DI(%ポイント)	回答数(n=)	良くなる(%)	変わらない(%)	悪くなる(%)	DI(%ポイント)
総合	▲53	▲62	▲49	117	22.2	39.3	38.5	▲16	116	2.6	36.2	61.2	▲59
①農業	▲42	▲25	▲13	11	9.1	45.5	45.5	▲36	11	0.0	27.3	72.7	▲73
②建設業	▲28	▲42	▲16	19	21.1	63.2	15.8	5	19	5.3	57.9	36.8	▲32
③製造業	▲38	▲48	▲32	29	34.5	41.4	24.1	10	29	3.4	58.6	37.9	▲34
④宿泊業	▲75	▲100	▲80	8	75.0	0.0	25.0	50	8	0.0	0.0	100.0	▲100
⑤卸売・小売業	▲80	▲68	▲84	27	7.4	37.0	55.6	▲48	26	3.8	26.9	69.2	▲65
⑥飲食業	▲65	▲100	▲69	11	18.2	36.4	45.5	▲27	11	0.0	9.1	90.9	▲91
⑦運輸業・その他のサービス業	▲50	▲60	▲40	12	8.3	25.0	66.7	▲58	12	0.0	25.0	75.0	▲75

■当期の主なコメント

現在の景況感	良い	<ul style="list-style-type: none"> GoTo トラベルの影響もあり、持ち直した感があった。今後については第3波の影響もあり、現状では何とも言いえないが、維持できるよう努力したい。 4～7月は緊急事態宣言のため、休館を余儀なくされた。8～12月はGo to Travelのお陰でたくさんの方に来ていただいた。再開してほしい。(交わりも大変有難かった)
	普通	<ul style="list-style-type: none"> 空店舗活用(改装等)補助金をお願いしたい。現状維持のためにお金を使うのではなく、次の布石を打ってほしい コロナ感染予防のため、客先より期待を余儀なくされています。助成金等の対象になれば知らせてほしい。【建設業】
	悪い	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響で、お盆・年末年始の帰省客の減少・唐津くんちの中止・台風の影響等が要因で売上、客数とも大きく減少した。次年度事業計画を作成中だが、経費を切り詰めても赤字へと転落の見通し。 コロナの影響で全体的に不景気で買い控えが目立ち又小売店より大型店に流れているので、益々悪化する一方。
6か月後の見通し	変わらない	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック、豚熱次第で悪くなるのが大。【農業】 GoTo トラベルの影響もあり、持ち直した感があった。今後については第3波の影響もあり、現状では何とも言いえないが、維持できるよう努力したい。
	悪くなる	<ul style="list-style-type: none"> 福岡に緊急事態宣言が出された今後は確実に景気も悪くなり、現状維持も難しくなる。コロナが長引く中で、影響を受ける企業への金銭面でのサポートなど期待したい。 コロナによる失業、勤務時間短縮等の影響により収入が減り、食料品に費やす金額が減っていくと推測される。 地域的に過疎化が進み、今後どのくらい人口が減っていくのか。旧国道沿いには倒壊寸前の空家も多く見た目も悪い。地域の力だけではどうにもならない。行政がもう少し市全体を見直すことが大事なのではないだろうか。

唐津市短観（唐津市短期経済観測調査）とは？

各企業からの調査結果である「良い」「普通」「悪い」の3通りで回答したものを集計して、DI*で表したもの。DIは「良い」という回答の比率から「悪い」という回答の比率を引いて指数化するため、全調査企業が「良い」と回答すれば100、全ての企業が「悪い」と判断すれば▲100となり、ゼロが景気の拡大縮小の分かれ目の目安となる。

*DI (Diffusion Index) : 企業や業界の景況感などを数値化した指標のことで、日本銀行の短観(全国企業短期経済観測調査)などで用いられている。